

吉田／こんにちは。テーマで話す。現代アートは、なじみがないかも。ロンドンやパリでは、現代アートが都市格に寄与するとの認識。美術館のコレクションの延長として、展示もされている。

国内では東京にある。金沢にもあり、観光面で成果がある。

大阪は手薄な印象。現代アートのイメージを結び付けられる人が増えてほしい。

大阪府には、現代芸術文化センター構想があった。バブル崩壊で凍結。政策廃止となった。

1990年代にコレクションを収集した。大阪トリエンナーレで。10億円近く使った。

だが、計画の頓挫で宝の持ち腐れに。駅の空いたスペースに展示するなど活用。企画展示も細々としてきた。

昨年7月、毎日新聞で報道。大阪府の地下駐車場に作品を保管していると。センセーショナルな見出しで。

SNSでも広まった。いかなものかと。

府知事も問題視。別の施設に移した。対応は協議中。

問題が起きて、大阪府の問題ではなくなった。作品をどう保管するか。これは、美術館共通の問題。

日本はコレクションも少ない。

美術館のあり方を考える問題提起になった。